

— 近畿大学 —

1月26日 前期 A 英語

解答

I

[A]

1. イ 2. イ 3. イ

[B]

4. ア 5. ウ 6. エ

II

7. オ 8. ク 9. ウ 10. イ

11. エ 12. キ

III

13. ウ 14. イ 15. イ 16. エ

17. エ 18. ア 19. エ 20. ア

IV

21. エ 22. ア 23. ウ 24. ウ

V

25. ア 26. イ 27. ウ 28. エ

29. エ

VI

[A]

30. エ 31. カ

[B]

32. ウ 33. イ

[C]

34. オ 35. ウ

[D]

36. ア 37. イ

VII

38. イ 39. ア 40. イ 41. ア

42. エ 43. エ 44. ア 45. ウ

(44・45 は順不同)

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解 説

大問Ⅲ

13. **forget** の語法問題。**forget Ving** 「(過去に) ～したことを忘れる」と **forget to V** 「(これから) ～することを忘れる/～し忘れる」の選択だが、ここでは文尾に **tomorrow morning** と未来を表す副詞があるので、**forget to V** を選ぶ。
14. **for the first time in ～** で「～ぶりに」という表現になる。**for the first time in three years** で「3年ぶりに」という意味。
15. 空所の後ろは主語が抜けた不完全な文なので、主格の関係代名詞 **that** か **which** が入る。本問題では、**that** を選ばばよい。
16. **one/some ～ or another** 「何らかの～」という表現を問うている。「何らかの方法で」→「ある方法または別の方法で」=**in some way or another** を知っていれば選べたかもしれない。**some** に「何らかの～」 「ある～」といった意味があることも覚えておきたい。
17. 時を表す副詞節 **by the time you come back** の **come** は見かけは現在形だが、実際には未来のことである。それに呼応して、主節には未来の一点までの完了を表す未来完了形 **will have finished** を選ばばよい。
18. 動名詞を含む構文 **There is no Ving**. 「～することはできない」を問うている。
19. **have + 目的語 + Ving** 「(人・もの) に～させる・させておく」という **have** の語法を問うている。
20. **successful** の後には **as the first one** が省略されていることを考慮すれば、同等比較を構成する **as** 「同じくらい」が最適である。

大問Ⅵ

[A]

Clare's mother must always remind her daughter to take her keys with her.

remind + O + to V 「O に～するよう念を押す」という語法がポイント。その語順に従って並べればよい。

[B]

We are sending you a copy of the book in acknowledgement of your contribution to its completion.

in acknowledgement of ～ 「～に感謝して」というイディオムがポイント。

[C]

The people Ben worked with thought he was a man to be relied upon.

2つの後置修飾がポイント。

1つ目は、目的格の関係詞が省略された以下の部分:

The people ←([whom] Ben worked with)

2つ目が不定詞の形容詞的用法が用いられた以下の部分:

a man ←(to be relied upon)

[D]

There is space for another few passengers in the back of the boat.

「さらに/もう～」と追加を表す **another** は、“another + 数詞 + 名詞”の語順になるので、**another few passengers** となる。一方、追加の意味の **more** は、“数詞 + more + 名詞”の語順なので、上記の書き換えは **few more passengers** となることも合わせて覚えておきたい。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！